



令和3年度のクラブ活動がスタート

本校では、4年生以上を対象に、三つのクラブ活動を実施します。その内訳は下記のとおりです。

- ① インドアクラブ（バドミントン、ミニバレー、昔遊びなど）
- ② アウトドアクラブ（サッカー等のスポーツ及びペットボトルゴルフ作成等の理科的活動）
- ③ パソコンクラブ



タブレットを使い、早速活動開始！（パソコンクラブ）

14日（月）に第1回目の活動を行いました。クラブ長などの役員の決定、年間計画づくりを主に行いました。学年を超えて活動する数少ない機会でもありますし、お互いに協力し合い、自分の個性を発見したり認め合ったりすること等を目的としています。年間9時間ほどの時間ではありますが、有意義な活動ができるよう期待しています。

前途洋々

子どもガイド養成講座開講式を行いました

御存知の保護者の方々も多くいらっしゃると思いますが、本校では毎年菊陽町関係各課の協力をいただき、3・4年生を対象に「子どもガイド養成講座」を実施しています。10月まで計5回の講座を行い、3名の講師の方々から鼻ぐり井手、馬場楠井手の取水口、井口眼鏡橋について深く学びます。講師の先生方をご紹介します。

松永 政秋 様（菊陽町文化財ボランティアガイドの会 会長）
内田 清晴 様（菊陽町文化財ボランティアガイドの会 副会長）
上村 隆一 様（菊陽町文化財ボランティアガイドの会）

先週の11日（金）の6時間目、本年度の開講式を行い、新しく本講座を受けることになった3年生が、富永南部町民センター長から「子どもガイド」の帽子を受け取りました。

本講座の目的は次のとおりです。



帽子を受け取る代表児童

私たちの住む菊陽町には、豊かな自然や貴重な文化遺産が数多くあります。伝統と文化を尊重し、先人の残した貴重な文化財を学習することによって、子どもたちは、菊陽町（南小校区）の地域の良さを深く知ることができます。そして、郷土を愛する心と学んだことを、誇りを持って話すことのできる力を養成するために、子どもガイド養成講座を実施します。

本校に赴任して2ヶ月以上となります。遅ればせながら、つい先日、鼻ぐり井手及び取水口を見学してきました。まず、400年以上も前に、このような素晴らしい工夫を施した施設が、人の手のみによって作られていたことに感動しました。また、現役の農業土木施設として176ヘクタールの田畠に水を供給していること、川底に土砂が溜まらない仕掛けがあること、水量の調整機能にも驚きました。私たちが暮らすそれぞれの地域には、昔の人々の思いや願いを知ることができます。歴史的価値のある史跡等が多く残っています。近くにいながら案外知らないことが多いのですが、子供たちにはこのことについて深く知ってもらうとともに、自分が生まれ育った場所をもっと好きになってほしいと思います。



真剣に話を聞く子供たち